

ピースサイクル2012 for 六ヶ所

●● 核燃料サイクル事業ストップ! ●●

六ヶ所再処理工場を廃炉に

■ フクシマ原発震災がもたらしたもの

昨年3月11日、東日本を襲った未曾有な大地震によって、福島第一原発は、世界で最大級の原発震災を起こし、多くの人々が故郷に帰れない「原発震災難民」を強要されています。

東電と政府の対応は、後手後手で正確な情報公開もされていません。地震発生後すぐに原子炉がメルトダウンし、大量の放射能が原発周辺だけでなく、首都圏でも「ホットスポット」と呼ばれる放射能汚染の高い地域が無数あり、汚染対策で苦しんでいます。

これまで、産官学と御用マスコミによる「原子カムラ」によって、原発は安全で、グリーンで、低コストのエネルギーだと宣伝されてきました。しかし、原発震災によってこの宣伝が根底から否定されています。今こそ、核燃料サイクルを全面的に見直し、日本のエネルギー政策を原発から再生可能な自然エネルギーに大転換させるときです。

■ 下北半島を原子力半島化させないために

下北半島の原子力半島化が、年々進んでいます。六ヶ所の再処理工場を中心とした核燃施設、東通原発、むつ中間貯蔵施設、大間原発等々です。核燃料サイクル施設の要は六ヶ所村にある再処理工場です。多くのトラブルが発生し、試運転の最終段階でガラス固化の失敗によって本格操業が4年近く延期されてきました。本格操業のストップ・廃炉をめざし、大間原発の建設ストップを通じて、下北半島を豊かな自然に取り戻すことが求められています。

■ 六ヶ所村を核のごみ捨て場にしないために

私たちは、原発震災以降、大きな被害と塗炭の苦しみの中で、再び原子力社会に後戻りさせない、再生可能な自然エネルギー社会をつくりださなければと決意しています。日本での「さよなら原発1000万署名」の前進や世界中で脱原発の声が大きくなっています。そのためにも再稼働を認めない。六ヶ所村を核のごみ捨て場にしない取り組みが重要です。今年も18年目の<ピースサイクル2012for六ヶ所>行動を成功させたいと思います。現地でがんばる反核燃の人々と交流し、核燃をめぐる動向を学び、反核燃の輪を全国各地に広めていきたいと思えます。初めての方の参加を大歓迎します。



<ピースサイクル 2012 for六ヶ所> 行動参加希望者は、8月5日(日)までに全国ネット TEL 047-360-6064 (FAX兼) 吉野まで一報ください。

ピースサイクル 2012for 六ヶ所スケジュール

8月18日(土)

- 13:00 六ヶ所村役場前集合
- 13:00~13:30 到着集会
- 13:40~14:30 昼食・六ヶ所の現状報告(菊川慶子さん)
- 14:40~16:00 核燃施設一周と反核燃アピール行動
- 16:00~17:30 宿舎(牛小屋)に移動
- 18:00~21:00 夕食後、交流会「再処理工場の動向と反核燃の取組み」

参加費用

2泊6食など	
大人	16,000円
中高生	10,000円
小学生以下	6,000円

8月19日(日)

- 7:00~8:00 朝食
- 8:30~17:00 下北半島行動(牛小屋出発)ーむつ中間貯蔵地見学・交流ー大間原発建設地見学・あさこハウスで交流会等(昼食)ー下風呂温泉入浴ー東通原発資料館見学ー宿舎へ
- 18:00~20:00 夕食・交流会

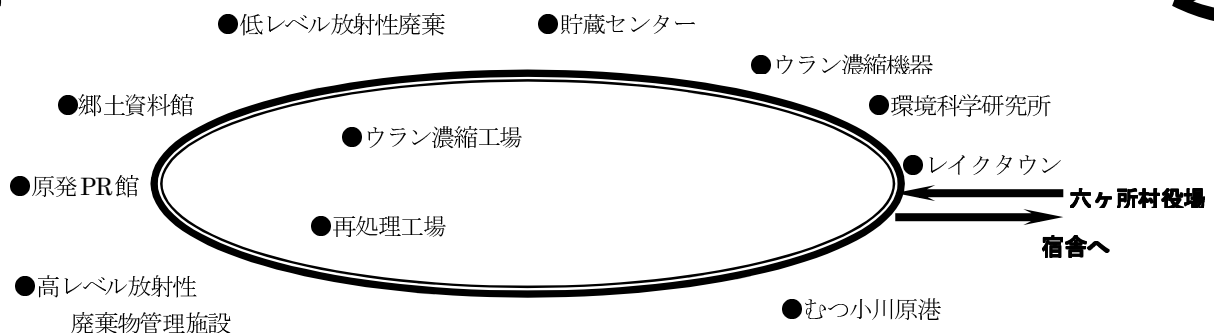
8月20日(月)

- 7:00~8:00 朝食
- 9:00~10:00 六ヶ所役場への申し入れ
- 10:20~11:20 原燃本社への申し入れ
- 14:30~15:30 青森県庁への申し入れ
- 15:45 解散

▼ 現地連絡先 ▼

牛小屋 Tel 0175-74-2522(菊川)
橋本携帯 090-5345-6965

核燃料サイクル施設一周ピースサイクル & 反核燃アピール行動



六ヶ所へのピースメッセージをお寄せください! (FAX 047-360-6064)

フクシマ原発震災から学ぶもの、原発社会から再生可能な自然エネルギー社会に転換させるために、今こそ、核燃料サイクルを止めましょう! 六ヶ所村長、日本原燃社長、青森県知事、反核燃で闘っている現地の仲間へお寄せください。